

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北長野校

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|---|---|----|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 法令を遵守したスペースを確保していますが、もう少し広く取れるよう検討中です。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | | ○ | | 一時的に児発管が不足しておりますが、解消に向けて動いています。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | 事業所内に段差はなく、バリアフリーです。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 事業所内でミーティングを行い、PDCA サイクルに参画しております。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 保護者等向け評価表を活用し、業務改善につなげています。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 毎年、HP にて公開しております。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 現在、第三者評価は行っておりません。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 連携機関である発達支援研究所の研修や事例検討会、行政主催の講演会等に参加しています。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 計画期間ごとにモニタリング・アセスメントを取った上で個別支援計画を作成しております。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 社内で標準化されているアセスメントツールを使用しております。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 職員間で意見交換できる環境と機会を作り、プログラムを作成しております。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 常にお子さまの様子や教材に対する反応を見ながら工夫していきます。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 平日と休日で利用者の気分や調子が変わるため、その時の様子を観察したり保護者からお聞きしたりしながら臨機応変に活動を設定しています。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 主に個別療育を行っておりますが、ご家庭からの希望と社会性の課題等を鑑み、月に 1 回程度小集団活動を行う機会も設けています。 |

| | | | | | | |
|--------------|---|--|---|---|---|--|
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 前回の支援の様子や保護者の方からのご希望などについて確認を行っています。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | よりよい支援となるように、指導員同士や児発管に相談してから次回に向かえるようにしております。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 会社内のルールに則って記録を記載・保管しています。 |
| | ⑱ | 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 計画期間（6ヶ月）ごとにモニタリングを通して面談を行い、達成度と課題を導き出し、新たな目標とともに個別支援計画を作成しています。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | ○ | | | アセスメントを基に優先順位をつけ、複数の項目を組み合わせ、個別支援計画を作成しております。 |
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 利用者様の担当指導員、もしくは最も状況を理解している指導員が参画しております。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | | 必要に応じて情報共有を行っております。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | — | | | 該当者なし。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | ○ | | 必要に応じて行っていますが、今年度はそのような機会がありませんでした。相談員から情報をお聞きし、職員に共有しています。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | ○ | | これまでに前例がありませんが、今後そのようなことがあった場合は、相談員や各種連携機関も含めて連携を図っていきます。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | 発達支援研究所、療育コーディネーター様、地域の専門員様などと連携し、助言をいただいています。 |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | ニーズがなく、現段階では予定していません。 |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | | | ○ | 今後、機会があれば積極的に参加していきたいです。 |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 支援後には必ず当日の支援の様子を確認し、必要に応じて学校や家庭での様子をお聞きして情報共有を行っています。 |

| | | | | | | |
|------------|---|---|---|--|---|---|
| | ⑳ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | 今年度は行うことができませんでした。今後はニーズに合わせ、検討してまいります。 |
| 保護者への説明責任等 | ㉑ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時に丁寧にお伝えしております。 |
| | ㉒ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 保護者のご希望を受けて相談を受けたり、「きらり」の方から相談が必要と感じた保護者にはお声がけをして相談しています。 |
| | ㉓ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | 今年度は一度しか行うことができませんでしたが、今後も保護者同士で共有する場を設けていきたいと考えています。 |
| | ㉔ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 苦情があれば職員全員で解決に向けた話し合いを行い、真摯に対応してまいります。 |
| | ㉕ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | 活動の様子については、Instagram や当教室HPでご紹介しております。 |
| | ㉖ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 個人情報は鍵付きの書庫で厳重に保管しています。 |
| | ㉗ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 直接フィードバックをすることが難しい場合は、電話やLINEで対応します。児童に知られたくない内容の場合は離れた場所でのフィードバックや、後日面談を行い対応することがあります。 |
| | ㉘ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | 実施予定はございません。 |
| 非常時等の対応 | ㉙ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | マニュアルを策定し、研修を実施しています。 |
| | ㉚ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 毎月様々な災害を想定した防災訓練を行っております。 |
| | ㉛ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 年1回以上虐待防止訓練を行っております。 |
| | ㉜ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | 身体拘束が必要な方に対しては契約時に保護者へ丁寧に説明を行い、個別支援計画の特記事項にも記載します。(現在、身体拘束が必要な利用者はおりません。) |
| | ㉝ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | 当事業所では基本的に食事・おやつを提供は行っておりません。 |

| | | | | |
|---|----------------------------|---|--|---|
| ④ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で共有し、再発防止に努めております。 |
|---|----------------------------|---|--|---|

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北長野校

保護者等数（児童数）：59 回収数：55 割合：93%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見、ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|--|----|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 48 | 6 | 1 | ・スペースが狭い。 ⇒パーティション等を動かし、広めのスペースを取ることに対応いたします。利用者の皆様が使いやすいスペースとなるよう努めてまいります。 |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 45 | 10 | 0 | ・防犯上、男性が1人でもいると安心。 ・もう少し職員が増えたらよいと思う。 ・専門性が不明なので教えてほしい。 ⇒周知が不十分で申し訳ありません。指導員について知る機会を増やせるよう、善処いたします。 |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 32 | 18 | 5 | ・普段のスペースはバリアフリーだが、トイレは見たことがないのでわからない。 ⇒トイレ内も段差はなく、バリアフリーになっております。 |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか | 55 | 0 | 0 | |
| | ⑤ | 活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか | 48 | 7 | 0 | ・時々、同じプログラムで子どもが飽きないか心配になる。 ⇒定期的にプログラムを見直し、保護者の皆様にも意見をいただく機会を作っております。 ・工夫していただき、ありがたく思っております。 |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 10 | 26 | 19 | ・必要としていないので、問題ない。 |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 53 | 2 | 0 | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 52 | 3 | 0 | ・子どもの状況を共通理解できるように話し合える機会がもっとあればよいと思います。 |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 48 | 6 | 1 | ・可能なら育児に関する助言をしていただけるとありがたいです。 |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 29 | 21 | 5 | ・保護者会を開催し、話し合いの機会を作ってください、ありがとうございます。 ・同じ悩みをもった保護者と話せるような機会があるといいと思う。 |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 44 | 11 | 0 | ・苦情を伝えたことがないため、わからない。 ⇒いつもご利用いただき、ありがとうございます。何か気になることがあった際は、どうぞお気軽に教室までお申しつけください。 |

| | | | | | | |
|---------|---|---|----|----|---|---|
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 52 | 3 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎回、子どもが近くにいるのでなかなか相談がしにくい。 ⇒同様のご意見をいくつもいただきました。必要に応じて後日面談を行うことも可能ですが、合わせてフィードバックのスペース変更も検討してまいります。 ・LINE で共有できるのが便利だし、早く伝わる。 |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 40 | 14 | 1 | |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 51 | 4 | 0 | |
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 46 | 7 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞いたことがない。 ⇒周知が不十分だったようです。積極的な周知活動を行ってまいります。 |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 34 | 17 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・一度も避難訓練の場に出くわしたことがないのでわからない。 ・把握できていません。 ⇒教室内の掲示に加え、HP やInstagramでも周知を行ってまいります。 |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 43 | 12 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・きりりへ行くのを楽しみにしています。 ・最近は少し疲れ気味。 |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 52 | 3 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの話をよく聞いてくれることが一番嬉しい。 ・時々、小集団の活動もあるととっても楽しめると思う。 ・課題をやる時に、選択肢を作ってくれたり、スモールステップにしてくれたり、本当に工夫していただき、ありがとうございます。 ⇒ありがとうございます。これからもより良い支援ができるよう、職員一同取り組んでまいります。 |

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。